

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 23-010

PDCA	事務事業名	新半田病院アクセス道路改良事業	部課等名	建設部土木課	建設担当	担当	鶴飼	
						内線等	437	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち 節： 第2節 都市基盤の整備 基本施策： 3. 交通体系 単位施策： (2) 生活道路の整備 個別施策： ①安心して利用できる道づくり						
	根拠法令等	—						
	対象・目的	新半田病院への道路交通の利便性及び安全性を確保する。						
	目的を達成するための手段・活動内容	新半田病院への救命、救急に関わる緊急車両の通行を確保するとともに、利便性の高いアクセス道路を整備するため、関係機関や土地所有者との協議を行い、用地買収、設計、道路改良工事などを実施する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位		
		測量調査設計委託件数				5	件	
		事業費			32,934	千円		
		人件費			8,641	千円		
		総事業費			41,575	千円		
	活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位			
	測量調査設計委託1件当たりのコスト			8,315	千円			
	成果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位		
		この事業は、新半田病院へのアクセス道路の整備を進めることが目的であり、現段階で適切な成果指標の設定が困難であることから、文章にて成果を表記する。	実績値					
			目標値					
		実績値						
		目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性			
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある			
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	B						
		阿久比町道のアクセス道路整備に係る整備費の負担については、阿久比町と覚書を締結し、路線測量及び名鉄軌道下の現況調査を実施した。アクセス道路に架かる「島田橋」の耐震対策及び名鉄軌道下の整備について、関係機関との協議を進め方針を決定する必要がある。新半田病院周辺道路については、測量設計及び境界確定測量を実施し、新半田病院に隣接する市道横山1号線を警察協議に諮ることができた。						
		改善推進						
新半田病院周辺道路における警察協議の未実施箇所を協議を実施し、用地買収を進めるとともに、阿久比町道のアクセス道路においては、関係機関との協議を進め、令和7年の新半田病院の開院に向けて両道路の道路改良工事を完了させる。								
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	新半田病院周辺道路における警察協議の未実施箇所を協議を実施し、用地買収を進めるとともに、阿久比町道のアクセス道路においては、関係機関との協議を進め、令和7年の新半田病院の開院に向けて両道路の道路改良工事を完了させる。						
	令和3年度の目標	成果指標			目標値	単位		
		アクセス道路の整備に向け、道路・名鉄軌道下の詳細設計及び測量を実施し、関係機関との調整を進める。警察協議の未実施箇所について、境界確定測量を実施し、用地買収範囲を決定する。						